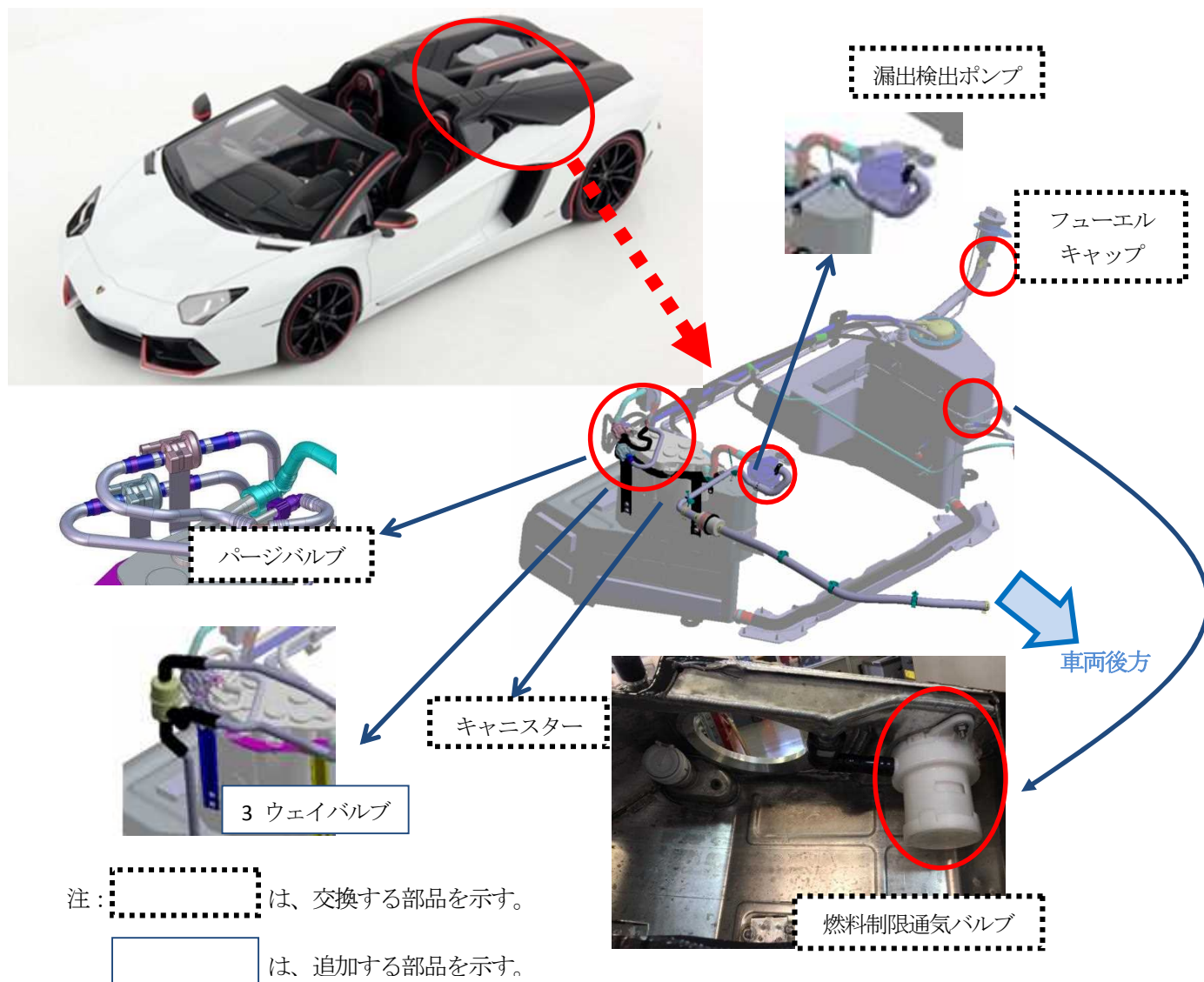


改善箇所説明図①



不具合内容及び原因

燃料蒸発ガス抑止装置において、燃料タンク内の蒸発ガスの吸入を制御するバルブ（燃料制限通気バルブ）の制御のしきい値が不適切なため、燃料満タン時に特定の運転操作等を行うと燃料が液体のままキャニスターおよびパージバルブに侵入することがある。そのため、燃料によりパージバルブが損傷して警告灯が点灯し、キャニスターの掃気ホースから燃料または、燃料蒸発ガスが漏れるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、燃料制限通気バルブ、パージバルブおよびフューエルキャップを対策品に交換し、キャニスターおよび漏出検出ポンプを新品に交換する。また、3ウェイバルブを追加して燃料蒸発ガス排出経路を変更し、エンジンコントロールユニットのプログラムを変更する。

識別：車両識別プレートの下側に、赤色で直径5mm程度のマークを塗布する。

また、点検整備記録簿の該当欄に「日付、走行距離、ワークショップスタンプと担当者名、リコール：外-2461 の改修と記入する。